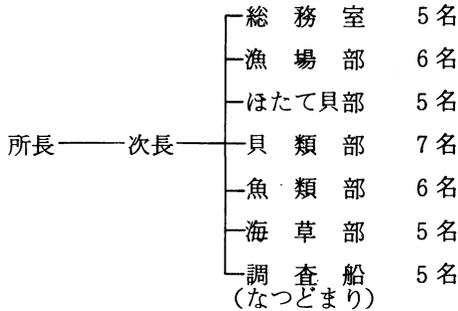


# 昭和61年度 庶務概要

## (1) 機 構



## (2) 職 員 名 簿

区 分	職 名	氏 名	区 分	職 名	氏 名
研究職	所 長	武 尾 善 蔵	技能職(一)	技 能 技 師	鹿 内 満 春
"	次 長	川 村 満	"	"	川 村 要
行政職	総務室長	鈴 木 正 悟	研究職	魚 類 部 長	田 村 真 通
"	主 査	清 藤 教 夫	"	主 任 研 究 員	塩 垣 優
"	"	秋 元 邦 治	"	技 師	吉 田 秀 雄
技能職(一)	技 能 技 師	和 田 幸 市	"	"	中 田 健 一
"	"	盛 善 道	技能職(一)	技 能 技 師	福 田 慎 作
研究職	漁 場 部 長	林 義 孝	"	技 能 主 事	五 十 風 照 明
"	総括主任研究員	中 谷 肇	研究職	海 草 部 長	小 田 切 讓 二
"	主 任 研 究 員	三 津 谷 正	"	総括主任研究員	能 登 谷 正 浩
"	技 師	高 林 信 雄	"	主(括)研究員	植 村 康
"	"	今 井 美 代 子	"	技 師	桐 原 慎 二
"	"	蛭 名 政 仁	技能職(一)	技 能 主 事	木 村 幸 子
研究職	総括研究管理員	青 山 禎 夫	海事職(二)	なつどまり船長	浜 田 勝 雄
"	はたて貝部長事務取扱	平 野 忠	"	" 機関長	横 浜 昌 夫
"	総括主任研究員	兜 森 良 則	"	" 一等航海士	鈴 木 常 雄
"	技 師	対 馬 廉 介	技能職(二)	" 甲板長	本 間 直 吉
"	"	榊 昌 文	臨時補助員	臨時労働補助員	長 津 司
研究職	貝 類 部 長	千 葉 熙	臨時補助員	賃金日額表	
"	総括主任研究員	須 川 人 志	事務吏員	3名 (行政職3)	
"	技 師	柳 谷 智	技術吏員	29名 (行政職1、研究職25、海事職3)	
"	"	松 坂 洋	技能職員	8名	
行政職	"	荒 田 茂	臨時労働補助員	1名	
			計	41名	

(3) 歳出予算執行状況

事業細目	事業内容	決算額
所費		267,068 <sup>千円</sup>
人件費	職員給料、手当、共済費、臨時職員賃金	239,285
一搬管理費	人件費以外の管理運営費	16,897
なつどまり運航管理費	なつどまりの運航管理費	10,886
試験研究費		9,310
ホタテガイ生育環境調査	餌料調査ほか	407
ホタテガイ増養殖試験	天然採苗予報調査、地まき漁場調査、養殖実態調査	1,167
重要貝類増養殖試験	アワビ放流追跡調査、ホッキガイ漁場及び資源調査 アカガイ天然採苗試験、サザエ生態調査	1,016
海藻類増養殖試験	モズク増養殖試験、エゴノリ増養殖試験	457
マダラ増殖試験	マダラ親魚、稚魚生態調査、人工ふ化放流試験	584
トゲクリガニ増殖試験	トゲグリガニの生態把握	1,100
ウニ増殖試験	空ウニ生態、資源量調査及び天然採苗試験	424
ホタテガイの生理的判定研究	ホタテガイの生理的活力の判定法の研究	992
外海ホタテガイ産業定着促進研究	外海放流用種苗確保、中間育成試験	343
優良海藻作出研究	バイオテクノロジー技術の導入活用	1,410
種苗生産事業費		18,120
ホタテガイ種苗生産	ホタテガイの種苗生産試験	200
アクアトロン機械施設運営費	アクアトロン機械施設の運営及び保守管理	15,868
ヒラメ種苗生産	ヒラメの種苗量産試験	1,255
アカガイ種苗生産技術開発試験	アカガイの種苗量産技術の開発及び増殖実証試験	966
ナマコ増殖試験	ナマコの種苗生産試験、天然採苗試験、増殖実験試験	1,086
指定試験研究費		8,963
浅海定線調査	水質、プランクトン、気象、海象の調査	492
生鮮貝類有効利用技術開発研究	解毒基礎試験、原因プランクトン大量採集装置の試作と採取、プランクトン無毒化試験、養殖方法改良試験 毒化貝生産とホタテガイ瀘水試験	3,344
養殖漁場における適正収容力に関する研究	湾内ホタテ生産安定維持のための適正収容力に関する試験研究	3,100

事業細目	事業内容	決算額
低温性餌料開発試験	冬期発生する魚類（マダラ、マコカレイ等）のための、初期餌料開発試験	2,000 <sup>千円</sup>
陸奥湾開発調査費		24,720
海況自動観測事業	パイロロボットによる海況の周年観測及び機器の保守管理 データ解析	23,611
海況補完調査事業	海況自動観測の補完（広域、他項目等）の調査	670
海況予報技術確立調査事業	海況予測手法の開発及び、茂浦定置観測、水温情報発行	439
水産業振興費		11,021
保護水面管理事業	アカガイ生物調査、環境調査、ホタテガイ生物調査 環境調査	
放流技術開発事業	ヒラメ種苗量産試験	
さけ・ます資源増大対策	さけの放流稚魚追跡調査、沿岸環境調査、親魚調査	
漁場整備開発事業費		3,863
大規模増殖場造成事業	アワビの増殖場の効果調査、ホッキ貝の幼稚貝調査	
地域沿岸漁場モデル開発調査事業	三厩村地域における漁業経営の現況、操業の実態および漁場の現状、利用実態調査	
水産業企画調査費		7,199
赤潮予察情報交換事業	環境及びプランクトン調査、貝毒測定	
重要貝類毒化対策事業	貝毒発生漁場環境調査、毒化原因プランクトン調査 毒化状況調査	
企画総務費		2,600
電源立地地域温暖排水対策事業	海藻類、有用底棲動物分布調査及び、温度別海藻類発生生長試験、採介藻漁業実態調査	
総務管理費		1,422
人事管理費	赴任旅費	
財産管理費	庁舎及び、職員公舎の維持管理	
計		354,287

#### (4) 工事实施状況

工事名	金額（千円）
クーリングタワー棟更新	1,600
自動観測装置シンカー原形復旧	2,500
海水ろ過器ろ材交換	690

(5) 研究成果・指導資料等の発行状況

・事業報告

No.	誌名	発行年月
第 15 号	青森県水産増殖センター事業報告（昭和59年度）	61年 4月
第 16 号	青森県水産増殖センター事業報告（昭和60年度）	62年 3月

・センターだより

No.	発行年月
第 36 号（4・5・6月号）	61年 5月
第 37 号（7・8・9月号）	” 9月
第 38 号（10・11・12月号）	” 12月
第 39 号（1・2・3月号）	62年 3月

・センターから公刊した報告書

題名	発行年月
昭和61年度生鮮貝類有効利用技術開発研究報告書	62年 3月
昭和57～61年度生鮮貝類有効利用技術開発研究報告書	62年 3月
昭和61年度夏期にみられたホッキガイのへい死状況について	61年 10月
昭和61年度特定研究開発促進事業・初期餌料の培養技術開発研究報告書	62年 5月

・センターで調査研究を担当し、公刊した報告書

題名	発行機関	発行年月
昭和61年度重要貝類毒化対策事業報告書（広域分布調査）	青森県	62年 3月
” （毒化予知手法開発研究）	”	”
” （毒化モニタリング調査）	”	”
昭和61年度赤潮・特殊プランクトン調査報告書	”	”
北方内湾における2枚貝の生産力に関する研究	”	”
昭和61年度保護水面管理事業調査報告書（ホタテガイ、アカガイ）	”	”
昭和61年度電源立地地域温排水対策事業調査報告書	”	”
昭和61年度放流技術開発事業報告書 （放流漁場高度利用技術開発・あわび類）	青森県 他4県共刊	”
（ ” ・日本海ブロック・ヒラメ班）	”	”

・学会誌その他への投稿

田中 俊輔：ホタテガイ。浅海養殖，415－445（1986），大成出版社

対馬 廉介：ホタテガイ安定生産のポイント。養殖，11，110－114（1986），緑書房

榊 昌文：陸奥湾におけるホタテガイ増養殖技術。水産技術と経営，9，52－58（1986），  
水産技術経営研究会

能登谷正浩：褐藻類の組織培養。昭和61年度東北ブロック増殖研究連絡会議報告書，45－47  
（1987），水産庁 東北区水産研究所

能登谷正浩：紅藻ヒピロウドの培養。日本藻類学会誌，34（1），44（1987）

・センター情報

種	類	期間および回数
昭和61年度ホタテガイ採苗速報		61年4～7月（11回）
昭和61年度ホタテガイ養殖管理情報		61年6～62年2月（4回）
昭和61年度ホタテガイ採苗情報（NHKテレビ、ラジオ）		61年4～7月（12回）
陸奥湾水温情報		61年4～62年3月（12回）
陸奥湾の水温（東奥日報紙上掲載）		61年4～62年3月 毎日 （但し、日曜、祭日を除く）